

緑の担い手

「緑の雇用」 二年目研修を 終了して

大子町森林組合
守川 翔

私は、茨城県大子町に生まれ、自然の多い町で暮らしています。就職前は、地元の茨城県立大子清流高等学校の森林科学科に在学していました。そこで林業についていろいろ学び、その学んだものを生かそうと就職先を選ぶのに悩んだ結果、林業機械の実習でお世話になった、大子町森林組合に決め、高校を卒業と同時に就職する事が出来ました。

就職してから間もなく、緑の雇用研修生となりました。チェーンソーや刈り払機の資格は高校生の時に取得していたのですが、林業機械などの資格も取得でき、さらに、技術講習で様々な技術を学べる事が、当時はすごく嬉しく感じられました。なぜなら、就業したばかりの私は、他の人達に比べ全然技術がなかったからです。

実際に研修一年目では、地拵えを行いました。上手く枝条などを集めることができませんでした。また、植栽でも唐鍬の扱いに大変苦労しました。

研修二年目では、各種講習会において多くの免許を取得することができました。

さらに、他の林業事業体の研修生、職場の先輩方などから、いろいろな技術を教えていただいたおかげで、今現在、怪我をすることなく毎日安全に仕事が出来ています。研修三年目も安全で怪我をしない仕事を心がけ、今後も林業の仕事に取り組んでいきたいと思っています。小さな仕事から高性能林業機械の操作などさまざまな仕事が出来ると自分になれるよう頑張ります。

